



2012～2013年度 国際ロータリー会長 田中 作次
創 立 1970年 9月 26日 例会日 毎週金曜日 12:30

摂津ロータリークラブ週報

SETTSU ROTARY CLUB

Club Weekly Bulletin

第2660地区

ガバナー 高島 凱夫

- ・事務局 〒566-0001 摂津市千里丘7丁目9-31 コカ・コーラウエスト(株)千里丘オフィス6F TEL06 (6330) 2267 (事務局直通)
http://www.settsu-rc.gr.jp E-mail:info@settsu-rc.gr.jp
- ・例会場 〒565-0826 吹田市千里万博公園1-5 ホテル阪急エキスポパーク TEL06 (6878) 5151
- ・役員 会長 横田 聡 副会長 益田 光三 幹事 東谷 弥八郎

本日の例会第 2057 回 2月8日

- ◇ソング「友達になろう」
- ◇卓話「魔女が語るヨーロッパ古代宗教と日本神道における開運魔術について」
ゲストスピーカー：彫刻家・仏師 齊野りりこ氏
担当：吉岡会員

今週の動き

次週例会予定 2月15日

- ◇卓話「2月は世界理解月間
スリランカのお話」
ゲストスピーカー：池本ニルミニ氏
担当：西島会員

例会日の出席	会員数	出席免除数
	40名	7名
2月1日	出席数	出席率
	31名	83.78%
前々々回の修正	欠席数	内 MU数
	7名	6名
1月18日	修正出席率	
	97.22%	

会長の時間

2月1日

横田 会長

本日は、安藤茂弘さんと宮田鐵夫さんのお二人を新入会員としてお迎えすることができました。

コカ・コーラウエストの安藤さんは、本日も出席していただいている寺原さんが福岡への転勤のため退会されますので、後任として引き続き入会していただけるということです。また、宮田さんは昨年3月にゲストとして卓話をしていただいていますので、覚えている方もおられるかと思います。職業分類は「倉庫」ですが、それ以外にも色々な方面にわたって活躍されている方です。

このようなお二人を迎えることができ本当にうれしく思っています。この後、入会式を行いますのでよろしくお祈りします。

本日の入会式でお二人にお渡ししますのは、

- ・バッジ、名札、会員証
- ・“4つのテスト”、“ロータリーの綱領”
- ・定款及び細則、クラブ概況報告書、名簿
- ・「ロータリーへようこそ」、「Rotaryって何ですか」
- ・「ロータリーの心と実践」

です。

お二人には本日の、入会したときの新鮮な気持ちを持ち続けながら、ロータリーライフを楽しんでいただきたいと思います。

四つのテスト

- ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか

幹事報告

東谷 幹事

1. IM (インターシティミーティング) 開催のお知らせ
日時：2013年2月2日(土) 午後2時～5時
場所：ホテル阪急エキスポパーク オービットホール
講演：吉岡秀人氏 (NPO法人ジャパンハート 理事長)
「私の出会ったいのちの記憶」
明日はご家族の出席も歓迎されるそうです。舞台に向かって右側に椅子席をご用意されていますので2時迄にご来場の場合は関係クラブの受付へ、2時以降でしたら入口に設営の総合案内までお越し下さい。
2. 2013年2月のロータリーレートは、1ドル=88円と本部より連絡がありましたのでお知らせ致します。
3. ロータリー財団年次寄付と米山記念奨学会特別寄付の確定申告用領収証を配布しましたのでご確認下さい。
4. 本日例会後、理事会を開催します。

理事会報告

東谷 幹事

1. 上半期収支報告の件 承認
2. 新入会員の委員会配属の件
安藤会員、宮田会員共に運営委員会・親睦委員会に配属 承認
3. 「仙台空港をバナーで埋め尽くし被災者を見守る」プロジェクトおよび「仙台空港にモニュメントを建立する」プロジェクト支援の件
両プロジェクトを支援する。バナーを送り、ニコニコ会計「震災復興支援費」より1万円拠出 承認
4. 新年家族親睦会収支報告の件 承認
収入 530,000円
支出 595,152円
収入と支出の差額65,152円のうち、米山奨学生世話クラブ補助費5,000円を拠出。60,152円を親睦委員会費より拠出
これにより親睦委員会予算残高は573,659円 承認
5. 花見例会の件
4/5(金) 万博・日本庭園
茶室「汎庵」使用料10,500円を本会計親睦委員会費より拠出 承認
6. 米山奨学生終了者歓送会の件(奉仕活動部門)
会長出席
会費5,000円をニコニコ会計奉仕活動部門費より拠出 承認

7. その他

2013年度 米山奨学生を受け入れ
ティリさん送別会 3月中旬に行う 承認

新入会員入会式

横田会長より、安藤茂弘会員、宮田鐵夫会員にロータリーの綱領、バッジなどが贈られ、両会員より自己紹介のご挨拶がありました。

(安藤茂弘会員プロフィール)

生年月日：昭和38年5月2日
事業所：コカ・コーラウエスト株式会社
役職：関西営業本部 副本部長
職業分類：清涼飲料製造



(宮田鐵夫会員プロフィール)

生年月日：昭和23年11月14日
事業所：有限会社マタベエ倉庫
役職：代表取締役社長
職業分類：倉庫



委員会報告

§ 広報委員会

下村 委員長

＜ J R 大阪駅電子広告実施（第 2 回目のご案内）＞

実施期間：2013 年 1 月 21 日（月）～2 月 17 日（日）

実施時刻：午前 6 時～午前 0 時まで

実施場所： J R 大阪駅東口・改札前北側及び南側柱
（今回は「東口のみ」となっていますのでご留意下さい）

§ 親睦委員会

北畑 委員長

2 月 16 日（土）の城崎への家族親睦会につきまして、バスが禁煙かどうかお問い合わせを頂きましたが、昨今の事情をかんがみまして、今回は車中は禁煙とさせていただきます。適宜休憩を多めに取って頂きますのでよろしくお願いいたします。

今月のお祝い

誕生日	東谷会員
夫人誕生日	岩城会員 西田会員 埜口会員 辻井会員
結婚記念日	安藤会員 樋上会員 岩城会員 木原会員
事業所開設	疋田会員 和泉会員 川西会員 宮野会員 中尾会員 埜口会員 尾崎会員 下村会員

月間卓話「世界理解月間」

国際奉仕委員会 疋田 委員長

1) はじめに

皆様、こんにちは。

先週のロータリー勉強会に続き、この 2 月は月間卓話「世界理解月間」とのことで、国際奉仕委員会よりの勉強会となっている次第です。ご清聴の程、よろしく願いいたします。

時間としましては、半分を勉強会、半分をフリートークとし、ICS 国際社会奉仕（旧世界社会奉仕）事業について、皆様と一緒に学んで行きたいと思っております。

2) ロータリークラブとは

社会奉仕の理想を掲げる世界的規模のクラブ団体。1905 年アメリカ、シカゴの弁護士ハリス Paul P. Harris (1868—1947) と 3 人の友人によって組織され、会員が持回りで自分たちの事務所を会合の場所にしたことから、ロータリー（回るという意）の名がついた。

1922 年には国際組織がつくられた。構成員は原則として 1 業種 1 人に限られ、会員の推薦によって入会できる。奉仕活動にはクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕がある。とくに国際奉仕に力を入れ、1978 年から 3H プログラム（Health, Hunger, Humanity。保健、飢餓追放、人間性尊重のためのプログラム）による開発途上国の援助、1985 年からポリオプラス運動（ポリオ撲滅活動+麻疹（ましん）・ジフテリア・結核・百日咳（ひやくにちぜき）・破傷風の予防接種実施）などを行っている。ロータリー・クラブの会員は 1989 年までは男性に限られていたが、同年定款の変更が行われ、女性の入会が認められるようになった。1996 年からは女性のニーズにこたえるロータリー活動なども行っている。国際本部はアメリカ、イリノイ州エバンストン。2009 年時点で 200 以上の国および領域に約 3 万 2000 のクラブをもち、約 120 万人の会員がいる。日本では 1920 年（大正 9）に米山梅吉が本部の委任によって設立し、2012 年（平成 24）時点で 2301 クラブ、8 万 9249 人の会員がいる。1961 年（昭和 36）と 1978 年には東京で国際ロータリー Rotary International (RI) の国際大会が開かれ、現在にいたっております。

3) 国際奉仕とその歴史的経緯

ロータリーの第 4 奉仕部門で、国際理解、親善、平和を推進するために実施する全ての活動を言います。初期のロータリーには今日の人道的奉仕活動を主体とした国際奉仕の概念はありませんでした。

しかし、第一次大戦中の 1917 年頃より米国やカナダ、ヨーロッパのロータリークラブが各地の避難民や、傷病兵、復員してくる軍人に対するボランティア活動や物資援助を行うなど歴史的背景を受けて、「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人および地域社会のリーダーの世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する」という国際奉仕の概念が、1922 年に綱領の第 6 項目として正式に明文化され現在に至っています（ロータリー章典 8.050.1.）。2 度にわたる世界大戦を通して世界平和を願うロータリアンは、1945 年には米国合衆国国務省から要請を受けて、49 名が国連憲章の原案作成作業に参加したといわれています。これはロータリーの歴史の中でも特筆すべき国際奉仕活動でしょう。

■個々のロータリアンの責務

世界で紛争や戦争など有事の際には、国際ロータリーは中立を守る立場にあり、当該国のロータリークラブとロータリアンは、それぞれ国法を遵守しなければならず、これらの国々の間では友情や親睦を築く事は困難になります。つまり世界の恒久的平和の推進を願うロータリーの国際奉仕活動も、有事の際には限界があるという矛盾もはらんでいるのです。しかし、ロータリアンは手続要覧89頁に記されている個々の責務を忘れてはなりません。

1. 愛国主義にとらわれず、自分が、国際理解と親善と平和を推進するという責務を共に負っているものとみなすべきである。
2. 国家的または人種的優越感によって行動しないようにすべきである。
3. 他国民と強調する共通の基盤を求め、これを育成すべきである。
4. 理想、言論、集会の自由、迫害と侵略からの解放、欠乏と恐怖からの解放を享受できるように、個人の自由を守る法律と秩序を擁護すべきである。
5. どこかが貧困であれば、全体の豊かさを危うくすると認識し、あらゆる国の人々の生活水準を高めようとする行動を支援すべきである。
6. 人類に対する正義の原則を高くかざすべきである。この原則は基本であり、世界的なものでなければならぬと認識すべきである。
7. 国家間の平和を推進しようと常に務め、この理想のためには個人的犠牲を払う覚悟をすべきである。
8. 実践されれば、必ず豊かで充実した人生をもたらす、倫理的・精神的な基本水準が存在すると認識しながら、国際親善の一步として、あらゆる他の人々の信念を理解する心をかき立て、これを実践すべきである。
9. 国家間の関係が緊迫しているところで活動やプログラムを実施する場合には適切な注意を払うべきである。

4) 国際奉仕とは

ロータリアンが、国際理解、親善、平和を推進するために行っているさまざまなことが国際奉仕です。次のような方法を通じて国際奉仕を行うことができます。他国の人々、その文化、習慣、業績、抱負、問題を理解すること、自分の地域社会で、また旅行中、および国際大会に出席中の個人的交流、読書と通信、他国の人のためになるクラブ活動およびプロジェクト(ロータリー財団を含む)への協力。

RI 理事会は、次のようなものが国際奉仕を形作ると考えています。国際奉仕委員会は、本クラブの会員が、国際奉仕に関する事柄においてその諸責務を遂行するうに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案し、これを実施します。この委員会の委員長は、本クラブの国際奉仕活動に責任を持ち、国際奉仕の諸特定分野について設置されるあらゆる委員会の仕事を監督しこれを調整します。

1. 世界社会奉仕委員会

RI が進めている国際社会奉仕活動のプロジェクトに沿って、あるいは当クラブ独自のプロジェクトを計画、実施するための委員会です。

2. ロータリー財団委員会

RI が進めているロータリー財団活動に対し、会員に対して寄付の依頼をするとともに、R 財団奨学生制度等、ロータリー財団活動の一端を担います。

3. 米山奨学委員会

日本のロータリーが進めている米山記念奨学制度に対し、その寄付を会員に募るとともに、奨学生のカウンセラーをするなど、金銭面だけの援助ではなく、物心にわたる援助を行い、国際親善を深めます。

4. その他(姉妹クラブとの交流)

当クラブには、三つの姉妹クラブがあるが、それぞれのクラブと連絡をとると共に会員の交流等を通して、理解増進の活動を行う。

5) 補助金申請の変更 「未来の夢計画」FVP

(Future Vision Plan)

2013-14 年度から本格導入となる「未来の夢計画」は本地区ではFuture Vision Plan と呼んでいます。

更に縮めてFVP と呼ぶこともあります。

FVP では、従来の財団奨学金や研究グループ交換(交換の必要はなく、一方通行も可となった。呼称は「VTT」)などの教育的プログラムや国際奉仕や地域の社会奉仕などの人道的プログラムに使われていた全ての補助金は2つに集約されます。

- ①新地区補助金 ②グローバル補助金 申請は1月15日～2月末
- ①新地区補助金(20~60万円)は小規模、かつ単発のプロジェクトに利用できます。ただし利用にあたっては、実行する年度の前年度3月頃までに地区に計画書を提出していただくなくてはなりません。

これにより、この補助金を使った奉仕プロジェクトが行われる場合、クラブ各奉仕委員会の皆さんは年度の前半は前年度計画されたプロジェクトを実行し、後半には次年度実行するプロジェクトの計画・立案をするという現状とは大きく違う活動をしていただくことになります。

- ②グローバル補助金(15,000~200,000)は大規模で長期的、持続可能なプロジェクトに使用されます。利用するには毎年一定条件を満たして資格認定承認を受けているクラブであって最低でも約234万円のプロジェクト規模、かつ目的が「6つの重点分野」の1つ以上に合致していること、持続性と客観的な成果の測定が可能であることが必要です。

2013-14年度の当地区新地区補助金の申請条件は、

- 1) プロジェクト総額：40万円以上
- 2) クラブ拠出金割合：50%以上
- 3) 補助金限度額：20万円~60万円

※クラブの前年度年次寄付1名当たり平均額により補助金上限に制限を設ける予定。

FVPの本格導入は次年度ですが、今年度の後半には次年度の事業計画を策定の上、申請書をいただきますので、今年度の奉仕プロジェクトを実行していただく期間は12月頃までが目安で、かつ迅速に報告書をいただく必要があります、2年周期となることを踏まえた委員会人事にご配慮下さい。



フリートーク

議題として

「世界理解月間」この機会に姉妹クラブであります、ソウル南大門ロータリークラブとの共同プロジェクトで一年ごとに担当しておりますICS 国際社会奉仕(旧WCS 世界社会奉仕)事業について、今後どのようなかたちで進めていくか、活動の再確認をしたいと思います。

問題点

- 1) 一緒にICS 国際社会奉仕(旧WCS 世界社会奉仕)事業活動をやって行こうと約束した会員が高齢になり、当時のメンバーが替わって、若い会員になってきているが、このまま継続していいのか?
 - ・このまま継続して行く
 - ・このままでは無理だと思います
 - ・言語の問題、南大門RCへ行って協議・話をする
 - ・WCS 事業はやめる?
- 2) 当クラブも同じで、どのようにして両クラブの若い会員同士を繋いで行くのか、又、どのように世代交代をして行くか?
 - ・5周年、10周年ごとの交流でいいと思う。
 - ・若い(今までに関わっていない)メンバーがアクションを起こす(訪問)
 - ・パイプを作るためにこちらから大勢で訪問する
- 3) 当初各クラブより年2000ドルずつを拠出し、合計4000ドルで一年ごとに担当クラブを交替して活動をするようになっていたが、ここ二年程前より南大門から1000ドルになっていることについて?
 - ・仕方がないやろという話が多い
 - ・2000ドルに戻しましょうと現地に話をしに行く
 - ・1000ドルで続けようという話が出た場合は、又話をしないとイケない
 - ・当初の約束と違う1000ドルになった理由を確認する必要がある
担当者が変わっている(南大門は1000ドルが正式決定)
 - ・現地で言わないとしょうがない
- 4) 今後どのような方向でソウル南大門RCとICS 国際社会奉仕(旧WCS 世界社会奉仕)事業を進めて行けばうまく機能させることができるか?
 - ・南大門RCと話し合うことがいる
 - ・交流が復活しないと無理ではないか
 - ・全て2番に集約できるのでは
 - ・南大門とICSを継続するかを話し合うべき(やめるか継続か、継続するなら新たな提要・枠組みでやるべき)
 - ・摂津ロータリーのICSに対するスタンスも明確にすべき
 - ・続ける事に意義がある
- 5) その他

ニコニコ箱

横田会長：新入会員の安藤さん、宮田さんをお迎えすることができました。

疋田会員：中川さんにいい物を頂いて！ありがとう

和泉会員：・岩城会員に写真を頂いて
・宮田会員をお迎えできて

川西会員：例会を欠席して

北畑会員：ロータリー家族親睦旅行のバス車内の禁煙にご協力いただきありがとうございます。

益田会員：先週例会を休んで
新入会員をお迎えして

光田会員：例会を連続で欠席して申し訳ございませんでした。

宮田会員：よろしくお願い致します。

望田会員：先週と先々週とお休みしまして。

森川会員：新入会員 宮田さんをお迎えして
中川会員に写真をいただいて

西田会員：新入会員さん、今後ともよろしく願います。又、寺原さん、福岡に会いに行きますので、その時はよろしく願います。

西本会員：中川さんに写真を頂いて

寺原会員：3年間お世話になりました。ありがとうございました。

辻井会員：寺原さん、淋しくなりますが本社でご活躍下さい。

吉岡会員：宮田様を迎えて
カーマガジンに愛車MG. RV8が4ページに渡り掲載されました。興味のある方はご覧下さい。

ニコニコ累計 809,000円

運営委員会会報担当 枠内は今回担当者

宮野会員 郷木会員

青木会員 川脇会員

國澤会員 中尾会員